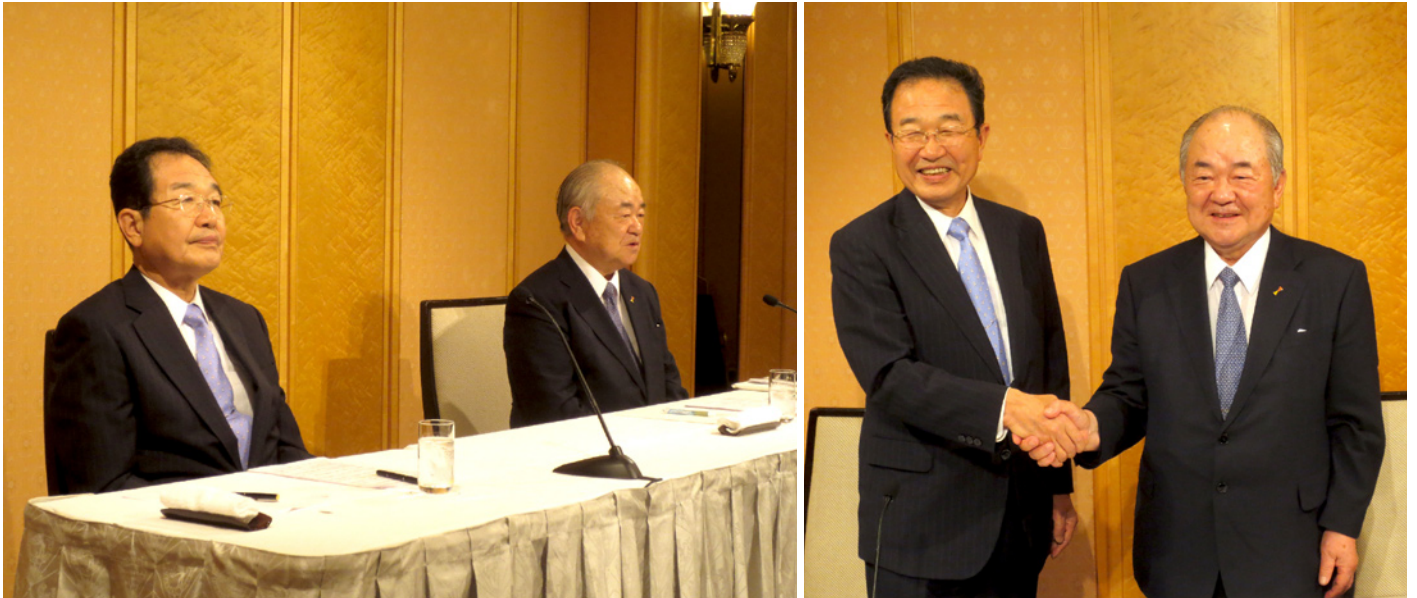


日本SM協会、新日本SM協会 合併 初代会長に横山氏、会長代行に川野氏



▲各写真、(左)川野幸夫会長、(右)横山清会長

一般社団法人新日本スーパーマーケット協会と日本スーパーマーケット協会は、9月13日(金)会見を開き、来年4月1日の「2団体統合に関する協議状況」と「価格表示に関する2団体の取組み」について発表。同会見において、新日本スーパーマーケット協会横山清会長と日本スーパーマーケット協会川野幸夫会長は次のようにコメントした。

横山 本日、合併・統合推進を目的とした協議会を開催し、来年4月1日に合併を決定。初代会長には私(横山会長)、会長代行には川野会長が決定した。川野会長とは以前から「正当な発言がしっかりと伝わるような組織にしていきたい」と話してきた。当合併は業界全体が活性化し、国民のためになることでもある。両協会の理念を整理し、新しいニーズを創出し、川野会長と二人三脚でやっていきたい。

新協会名称は「一般社団法人日本スーパーマーケット協会」とする。今後は、11月に第2回の協議会で大部分を具体化し、3月に法的面をクリア、

4月1日に合併の計画である。

川野 消費税に関しては、我々がお客様から税金を預かり納税をしている。つまり“納税の代行”であり、お客様にも税金について知って欲しい。そのような事から「本体価格」表示が分かりやすいと考えている。本来、「本体価格」の小売業での一本化が望ましいが、各企業の状況もあり難しい。また、時期的に各加盟企業様へはっきりと示さなければいけない時期でもあり、SMとしては「本体価格」をベースとした表示にしていきたい。

横山会長とは考え方が一致しており、横山会長を中心に業界の社会的地位を高められるようにしていく。SMの商いは17兆円とも20兆円とも言われ、小売業において主体的であるが社会的地位は高くない。業界で働く人々が胸を張って働けるように、業界内が一致団結していかなければいけない。

両協会の事業内容は相当違うが、合併によって、互いの協会を知ると共に、新たな取組みを行っていくことも必要である。